

**製品名: TIN2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18956**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TINF2
別名	TINF2; TIN2; TERF1-interacting nuclear factor 2; TRF1-interacting nuclear protein 2
遺伝子 ID	26277.0
SwissProt ID	Q9BSI4
免疫原	抗血清はヒト TINF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

**背景**

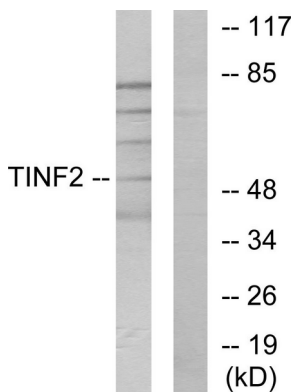
この遺伝子は、細胞がテロメアと DNA 損傷領域を区別できるようにすることでテロメアを保護するシェルタリン（テロソーム）複合体のタンパク質の1つをコードしています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はシェルタリンの重要な部分であり、シェ

ルタリン複合体の3つのDNA結合タンパク質と相互作用し、複合体の組み立てに重要です。この遺伝子の変異は、遺伝性骨髄不全症候群である先天性角化異常症 (DKC) を引き起こします。[RefSeq 提供、2010年3月]、代替製品: 一部のアイソフォームでは実験的確認が不足している可能性があります。疾患: TINF2 の欠陥は、常染色体優性先天性角化異常症 (ADDKC) [MIM:127550]の原因です。スコギンズ型先天性角化異常症としても知られています。ADDKC は、網状皮膚色素沈着、爪異常症、粘膜白板症の3つの症状を特徴とする、まれな進行性骨髄不全症候群です。骨髄不全、感染症、致命的な肺合併症、または悪性腫瘍により早期死亡に至ることがよくあります。疾患: TINF2 の欠陥は、骨髄不全を伴う滲出性網膜炎 (ERBMF) [MIM:268130]の原因であり、Revesz 症候群としても知られています。ERBMF は、両側性滲出性網膜炎、骨髄低形成、爪異常症、細毛、小脳低形成、および成長遅延を特徴とします。機能: テロメアの長さと保護の調節に関するシェルターリン複合体 (テロソーム) の構成要素です。シェルテリンは、テロメラーゼによって付加される二本鎖 TTAGGG リピートの配列と会合し、染色体末端を保護する。その保護活性が失われると、テロメアは DNA 損傷監視から隠蔽されなくなり、染色体末端は DNA 修復経路によって不適切に処理される。シェルテリンはシェルテリン複合体の組み立てにおいて役割を果たす。細胞内局在: テロメアに関連。サブユニット: モノマー。POT1、TERF1、TNKS1 との複合体中に存在。TERF1、TERF2、TINF2、TERF2IP ACD、POT1 からなるシェルテリン複合体 (テロソーム) の構成要素。TERF1 および ACD に結合。組織特異性: 心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓で検出される。、

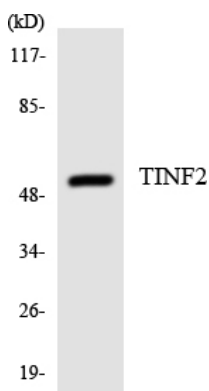
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



TINF2 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TINF2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。